錯誤せしめた非科学的野蛮方法の全部的の暴露である。
我等はかくの如き無能に對する警察主脳部の責任を問ひ併せて不当なる人権蹂躙に断乎として抗議す。

二、右の如き無能なる官憲すら、無産階級の正当なる生活擁護の運動を、文字通り横暴なる弾圧を下してゐる「共産党」の名を付けて出兵せしめて、我等を換へしよ、呼ぶ民衆の目からそれを非平和的運動は、その全評議会支部を徹底的に依って停止されて遂に下る我が工場閉鎖する我等をして悲痛は夫れに依って挑まれた。労働者の工場代表者運動は一つの例外なく不当極まる解雇と検束の下に蹂躙し去られたか。殊に甚しきは六月十六日大森で開催された工場代表者会議は開会二分にして解散を命ぜられ、臨場の警察官は泥靴で集会者を蹴散らして、この暴状に思はず横暴を叫んだ者があるや無差別に「警察官は何等暴言も抵抗もしてゐない」労働者を殴ったりして肋骨と筋肉が折れた程の重傷を負はせた。

かくては、今日の民衆はその正当なる要求を叫ぶ前に先づ官憲に対して武装をせざるを得なくなる。果して今日政府当局は我等民衆にその武装を強要せんとするか!

我等は非常協運動工場代表者運動の不当なる弾圧に対して茲に厳重に抗議す

昭和二年六月十六日

労働農民党東京府支部聯合会

東京府警察部長殿

財團法人協調會